

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 経皮的動脈血酸素飽和度を用いた特発性肺線維症の新たな重症度分類の検討

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 武井玲生仁

[研究の背景] 特発性肺線維症（IPF）は原因不明の慢性線維化性の間質性肺炎であり、進行性で予後不良な経過をたどる。日本における IPF の重症度分類は、安静時の動脈酸素分圧（PaO₂）と 6 分間歩行試験時の経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）を用いた分類が使用されている。しかし、PaO₂ の測定は、患者の動脈血を採取する必要があるため、侵襲性が高く、より簡便かつ低侵襲な安全な指標を用いた新たな重症度分類が求められる。

[研究の目的] 安静時 SpO₂ と 6 分間歩行試験時の SpO₂ を用い、新たに作成した IPF における新重症度分類の妥当性を検証する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008 年 7 月から 2015 年 7 月に、当院で 6 分間歩行試験時を含む初回評価を行った IPF の方

●利用する検体、カルテ情報

年齢、身長、体重、性別、喫煙歴、基礎疾患、呼吸困難感、運動耐容能、生活関連 QOL、検体検査（LDH、KL-6、SP-D）、6 分間歩行試験、動脈血液ガス検査、画像検査、病理検査、肺機能検査、気管支鏡検査

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[研究期間]

倫理委員会承認日～2020 年 12 月

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 武井玲生仁
電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139